

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。21ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板



気のせいか、市内のあちこちにそれとなく「スギッチ」が増えてきたように思われます。広報の表紙のスギッチも、炬火(きょか)旗 花に水かけと、いろいろ働いてるんですね(竹内かおりさん 26歳・飯島)

学校の運動会で、スギッチリレーというのをやりました。たのしかったです(鈴木真緒さん 8歳・土崎)

広報五月十六日号の表紙の桜を見て、今年は桜が特にきれいに感じました。草生津川沿いと大潟村の菜の花と桜、千秋公園、護国神社、自衛隊通りの桜と近場を散歩して、五月の連休は「サクラ・桜」日本の花と春を満喫しました(山田良子さん 70歳・將軍野)

桜も散り、最近は大ラビ、シドケなどの山菜を堪能します。市販の野菜とは異なり、適度な苦みがあり、食べる力が出そうなので、もりもり食べています(渋谷由紀子さん 52歳・下新城)

あの大雪がうそのようにすっかり春らしくなり、あちこちのお店やお庭にはきれいな花が並んできました。我が家も…と思ったのですが、ガーデンング経験のない私にはちよっとムリ…。しばらくは散歩しながら皆さんのお庭を眺めて春を満喫したいと思えます(花子さん 38歳・桜台)

昨年五月、妹の娘の大学卒業式のため、妹と二人でアメリカ・セントクラウドへ行きました。今年の五月十二日、英文の新聞のコピーが届き、見てびっくり！卒業式で撮った写真付きで、めいの卒業が優秀賞を取ったとの記事が載っていたのです。妹にとつて、何よりの母の日のプレゼント。秋田っ娘のがんばりに私も拍手。うれしい一日でした(くみおばさん 下北手)

母の日に娘たち三人から大好きなお花の鉢を三個ももらって、とてもとても嬉しかったです(えび井さん 96歳・土崎)
視覚障害者の私たちと、そ

地域の話 おしえて!!

川尻朝市が今年も始まりました 月一回、神社の参道が商店街に

6月3日、川尻の総社神社が、にぎやかな朝を迎えていました。月に一度の朝市の日です。

川尻朝市実行委員長の上村敦さんは、始めた理由を「川尻の商店街も、今はシャッター通り。特に食料品店がなくてみんな困っていた」からだと話します。町内会長だった上村さんは、周囲の町内会や市、秋田市地産地消推進協議会の協力を得て、平成15年9月に朝市をスタート。15回目を迎えた今

回は、朝採り野菜や山菜、漬物、花苗など、13店が並びました。

9時に鳴らす上村さんの笛が販売開始の合図。その前から人だかりができていた店では、あっという間に売り切れに。それでも、楢山から来たご夫婦が「9時10分に着いたらほとんど売れてしまっていて残念。でも来月また来ます」と話すように、常連になってしまいう雰囲気朝市にはあります。

みなさんも、活気あふれる「参



11月まで毎月第1土曜日午前9時～10時30分に開催(売り切れ終了)

道の商店街」に足を運んで、買い物を楽しんでみませんか。



7月からは品数がさらに豊富になるそうです



おしゃべりかわらばん



寺宝に触れて感激です

佐竹の歴史に興味があり参加しました。見せていただいた像や書などは、どれも貴重なものばかり。特に誓願寺の「三十六歌仙絵」には感激しました。そして大悲寺で見た佐竹義和の木額、「海」「無」「量」の3文字。圧巻でしたね。

寺町の寺院を巡る文化財散策会に参加した石山憲二さん(千秋)

小さい努力をコツコツと

詰替用の洗剤を使うなど、環境のことを考えています。もちろん、買い物のおときはマイバッグ持参。おでかけにも重宝しますよ。これからも小さい努力がごみの減量につながると信じて、続けていきます。



環境貯金箱作戦のキャンペーンでアンケートに答えた五十嵐セツノさん(河辺)

新鮮でおいしそう！

直売は野菜が新鮮で、しかも作っている人の顔が見えるところが好きなんです。家の近くのアルヴェで開催されると知って、今日を楽しみにしていました。買ったほうれん草と大根は、さっそく今晚のおかずになります。



アルヴェで開かれたきらめき市場で買い物をしてきた栄田早苗さん(東通)

楽しく絵本読みきかせ

えほん展のイベント「パパの元気で愉快なおはなし会」での、分かりやすくユーモアたっぷりの話には私も息子たちも大満足！私も講師の田中さんのように、楽しく絵本を読んであげたいと思います。



親と子のえほん展に来ていた横山俊一さん、大貴くん(右)、勇太くん(広面)

がんばって食べました

ラーメンの味もよく分からないくらい急いで食べたから、少しこぼしてしまったけど、いつもは行儀良く食べてるよ。初めて出た早食い大会で1位になって、運動会のかげっこで1等をとったのと同じくらいうれしかった！



へそラーメン早食い大会小学生低学年の部で優勝した関谷崇くん(桜小2年)



千秋公園の設計者・長岡安平は長崎県出身。5月19日、安平の軌跡をたどるテレビ番組を制作中の長崎県大村町の一行が、取材のため千秋公園を訪れました。

のガイドヘルパーのかたで、太平山麓に行きました。せっかくの機会なので、太平山自然学習センター「まんだらめ」に見学をお願いしたところ、センターのかたは突然にもかかわらず案内してくれました。建物・設備ともに木造で、手に触れるものみな、なめらかで優しさを感じました。また、受付の掲示板に点字で「秋田県立盲学校」と表示してあった気配りには驚きました。点字器がなく、ペン先でそれを作った職員の人柄と心の豊かさに感服しました(熊谷幸二郎さん 80歳・八橋)

係からひとこと

広報課は毎年六月から八月まで、イベントの取材盛りだくさんの繁忙期を迎えます。先日行われたへそまつりでシーズンイン。ヤートセ、港まつり、いかだ下り、竿燈、花火、大正寺おけさと走り回り、気がつくとも顔も身体も真っ黒に日焼けというのが広報課職員の夏です。でも、妊婦のわたしは今シーズンのお祭り取材はお休みです。思わずこちららも血が騒ぐ祭りの取材は大好きなのですが、今年はずいぶん遠くから来月半ばかりは産休をいただいで、一読者として広報が届くのを楽しみに育児を頑張ります。来年、また新鮮な気持ちでここに帰ってきたいと思います。(水澤)



広報クイズ

5月16日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「9,000」ト、問2が「わんぱく」キッズのおでかけプランでした。全問正解135通(応募総数142通)の中から、次の20人のかたに図書カード(10人)とスギッチグッズ(10人)をお送りします。

= 敬称略 =

図書カード 板垣百合子(川元)、工藤正子(飯島)、小武海ヒサ(外旭川)、志賀海男(豊岩)、多田真由美(泉)、テツコ(泉)、中田哲夫(土崎)、保坂剛(飯島)、マリン(牛島)、渡辺麻美(寺内)

スギッチグッズ 紫陽花(桜)、井川久美子(東通)、かほちんまま(下新城)、かまちゃん(土崎)、佐々木美智子(河辺)、佐藤サト(外旭川)、高橋花苗(楢山)、藤田啓一(手形)、みみみ(將軍野)、れなまま(新屋)

6月の広報クイズは21ページです。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)



千秋公園で塗装奉仕活動。秋田中央塗装業組合のみなさん、お疲れさまでした。